

への 市議会だより

49号

平成30年
11月15日発行

9月定例会 — CONTENTS —

定例会及び決算の概要	2
決算特別委員会	4
補正予算など	7
審議結果、賛否の公表	10
一般質問	11
視察レポート	17

「取れたね」「うん、とれたあ」
大きく実ったリンゴを収穫

(認定こども園ともいぎ)

9月
定例会

平成29年度決算全9会計を認定

実質収支は6億7598万円の黒字

9月定例会は、9月11日から10月3日までの23日間開かれ、本会議や委員会などで活発な議論が交わされました。

審議の結果、市長より提出された平成29年度決算認定9件と、補正予算案等の議案9件が原案のとおり可決されたほか、議員提出の意見書案3件のうち2件が可決されました。

一般質問では8人の議員が登壇し、市政や教育行政全般について市の考えを質しました。

決算の概要

平成29年度の一般会計と各特別会計の歳入歳出決算を総括すると、歳入決算総額は前年度に比べ3・57%増の240億290万6千円、歳出決算総額は同3・41%増の231億744万9千円となっています。

歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は8億284万1千5百円で、この形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源1億524万3千2百円を差し引いた実質収支は6億759万8千3百円となる黒字となっています。また、当年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は629万2千円の赤字となっており、実質単年度収支は2億910万6千4百円の赤字となっています。

会計別決算状況

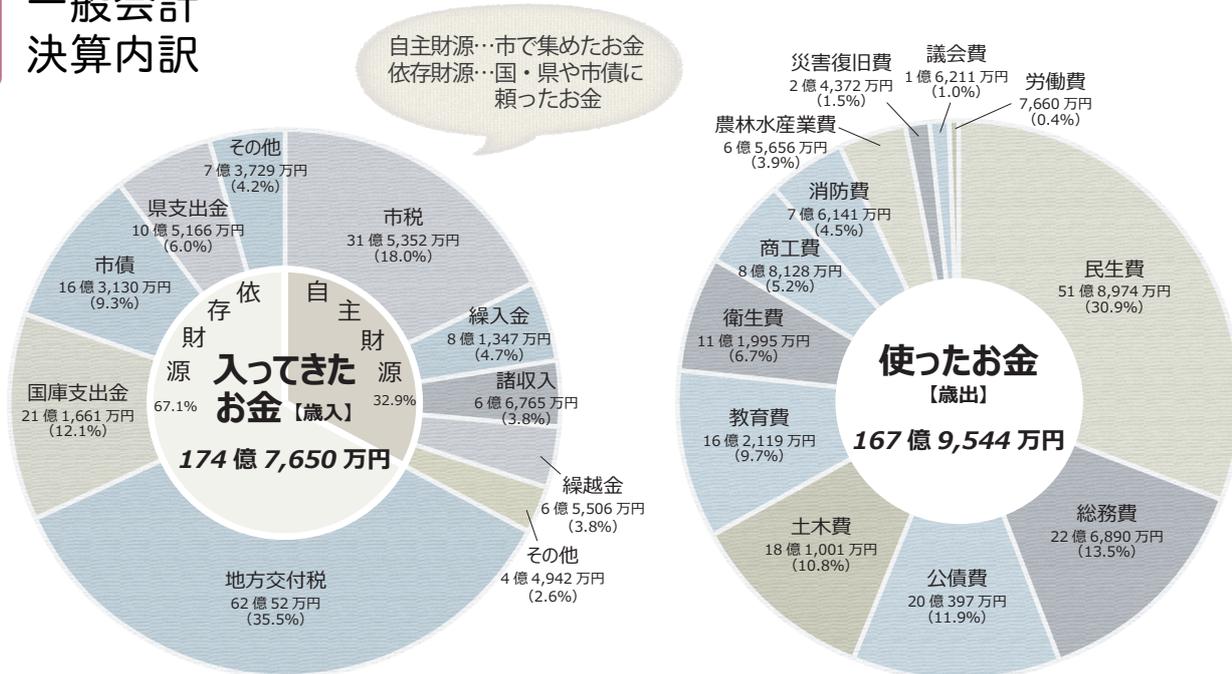
区分		歳入	歳出	差引額	
一般会計		174億7,650万円	167億9,544万円	6億8,105万円	
特別会計	国民健康保険	事業勘定	38億7,797万円	37億9,274万円	8,522万円
		診療施設勘定	2億3,939万円	2億3,919万円	20万円
	下水道事業		8億6,123万円	8億4,827万円	1,296万円
	生活排水処理事業		6,052万円	6,038万円	15万円
	簡易水道事業		9,411万円	9,273万円	138万円
	土地区画整理事業		10億9,730万円	10億5,025万円	4,705万円
	介護サービス事業		179万円	171万円	8万円
	後期高齢者医療		2億9,410万円	2億9,378万円	32万円
計		240億291万円	231億7,449万円	8億2,842万円	

区分		収入	支出	差引額
水道事業会計	収益的収支	7億3,521万円	6億2,358万円	1億1,163万円
	資本的収支	2億2,122万円	4億6,658万円	△2億4,536万円
		不足額2億4,536万円は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税資本的収支調整額で補っています。		

※端数処理のため計が一致しない部分があります。

一般会計歳出額は 167 億 9,544 万円

一般会計 決算内訳



一般会計の 主な使い道

こんな事業に使われました

<p>民生費 (高齢者、児童など福祉にかかるもの)</p> <p>51 億 8,974 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童クラブ施設整備事業 2 億 4,231 万円 病児保育施設整備事業 1 億 1,634 万円 	<p>総務費 (情報管理、市バス運行、まちづくり、職員人件費など)</p> <p>22 億 6,890 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 公金収納環境整備事業 2,959 万円 公民連携まち再生事業 1,374 万円 	
<p>土木費 (道路や河川の整備・維持にかかるもの)</p> <p>18 億 1,001 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路新設改良舗装事業 1 億 4,313 万円 新規街路整備橋梁概略設計事業 254 万円 	<p>教育費 (小中学校、学校給食、社会教育事業などにかかるもの)</p> <p>16 億 2,119 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 九戸城展望施設等整備事業 4,858 万円 育英資金貸与事業 2,750 万円 	<p>衛生費 (予防接種、ごみ処理などにかかるもの)</p> <p>11 億 1,995 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ロコモティブシンドローム予防事業 1,221 万円 ごみ減量化実証実験事業 240 万円
<p>商工費 (観光イベント、漆振興、企業誘致などにかかるもの)</p> <p>8 億 8,128 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方創生拠点整備事業 2 億 8,177 万円 漆掻き職人育成事業 2,057 万円 	<p>消防費 (消防活動、消防施設整備などにかかるもの)</p> <p>7 億 6,141 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防ポンプ付大型水槽車整備事業 4,013 万円 防災行政無線設備保守点検業務委託料 488 万円 	<p>農林水産業費 (農地整備、農家支援などにかかるもの)</p> <p>6 億 5,656 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業農村直接支払事業 1 億 4,775 万円 にのへ三大ミート発信事業補助金 150 万円



お金の使い道をチェック！

決算特別委員会

議会選出監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会では、委員長に田口一男議員が、副委員長に國分敏彦議員が選出されました。

特別委員会と所管の分科会で詳細にわたり審査をした後、最終日に各分科会の報告を受けて採決が行われました。文教福祉分科会では、二戸市体育協会元職員による私的流用の事案が発覚したことを受けて、一般会計決算を「不認定」としましたが、特別委員会における採決の結果、平成29年度一般会計と7つの特別会計、水道事業会計の計9会計全ての歳入歳出決算を「認定すべきもの」と決しました。



本会議での質疑

29年度決算全体

決算の総括

問 税制面での総括は。

答 歳出総額の増は地方創生拠点施設や児童福祉施設の整備、災害復旧事業費の増加などが大きな要因と捉えています。交付税等の減少や合併算定替えの縮減等で目減りした分については財政調整基金を投入した。今後はローリングや投資的経費等の見直しを図りながら、有効的な財源確保につながるよう進めたい。

29年度一般会計決算

情報発信

問 ホームページなど、全国に向けた発信にどう取り組んだのか。

答 二戸の宝に関する情報をアーカイブとして掲載したり、ユーチューブチャンネルでふる

さと応援動画等を発信したりと、経費をかけずに工夫しながら改善してきた。

公民連携まち再生事業

問 公民連携で前のめりになっている印象だが、内部での議論はされているか。

答 世の中のこれからの動きを見ると、民間の力を借りなければ行政は続かない。一緒に行うことで、他にはない二戸の宝を生かしたまじづくりが進んでいくと思う。いつはしごを外されるか不安はあるが、乗れるところは乗りながらこれからも進めていく。

農業振興費

問 昨今の健康志向の高まりなど、切迫した状況にある葉たばこ農家の今後への対策は。

答 葉たばこ農家は10年間で約200ほど経営体が減っているが、

この農地等を活用しアスパラガスの産地にしていくという新たな動きも出てきている。また、県の事業で福田で酒米、浄法寺の山内でリンドウの生産に向けて平成31年度から基盤整備に着手する動きもある。県と連携をとりながら新たな方向を支援していきたい。

御返地中学校統合

問 統合後の御返地中学校跡地の活用は。

答 何が一番その施設の有効活用につながるのか、また地元住民の要望等にある程度応えられるものになるのかも含め、市全体でも検討を進めていきたい。

みたく支援学校分教室

問 独立校設置に向けた取り組み状況は。

答 本年度も県に強く要望している。市教委でも目下の重要課題と捉えており、先般県北広

域振興局長も現地を見て回った。今後も子どもたちや保護者の皆さんの気持ち伝わるよう努めていく。

体育協会元職員による私的流用

問 安心できる監査体制を確立させるための今後の方向は。

答 指定管理の基本協定を厳正に執行し、新たに作成した点検マニュアルにより適切な指導を行い、委託者として管理監督責任をしっかりと認識しこのような事案が二度と発生しないよう努める。協会では、会計ソフトを活用した複式簿記による会計処理、複数体制による管理監督体制、現金取扱等のマニュアル化、内部監査の充実、会計・決算処理作業に対する専門家の指導依頼、定款・規則・規程等の見直しの検討をしていくとのことである。

総務分科会

29年度一般会計決算

投票率向上に対する取り組み

問 衆議院議員総選挙における本市の投票率の順位は。

答 期日前投票の投票率は県内33市町村中、上から2番目。全体の投票率では下から2番目。投票率の伸び率は県内で上から2番目であった。新たな取り組みとして、医療機関の窓口で啓発グッズを置いてもらったり、幼稚園・保育所等の入所全児童の保護者への投票啓発などを行った。二コアの場所の確保は欠かさずに継続していき

たい。
広報にのへ発行事業
問 読みやすくなり、写真も楽しみである。研究会への参加等は。



広報にのへ5月1日号

答 以前は1日号2色、15日号1色で作成していたが、29年度からは職員がパソコンですべて編集できるようになり、同じ費用で、カラー印刷にしたりページ数を増やすことが可能となった。

研究会は年に2回あり、新人研修会と8月の広報担当者研修会では、全国の先進地から素晴らしい講師を迎えてノウハウを教えていただいている。県北地区でも二戸地区と久慈地区の8市町村で協議会を作っており、年2回研修会を開催しレベルアップを図っている。

いわてカシオペアブランド発掘・発信業務委託料

問 29年度の成果と今後の展開は。

答 カシオペアブランドコーディネート養成講座を開催して、資源の発信・発掘ができる人材の育成に努めている。加えてカシオペアブランドマーケティング展開のための認知度調査を実施している。推進ビジョンを策定し、30年度以降はモノづくり・コトづくりとして、戦える商品作りの改善、事業者間の連携、戦略的なプロモーションの実施を予定している。二戸地域がひとつになってひとつの方向を向いて全国発信していくことというものである。

文教福祉分科会

29年度一般会計決算

高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり推進事業費補助金

問 事業の内容は。

答 介護認定を受けた高齢者等が在宅生活を送るために、手すりの設置、段差解消、和式から洋式便器への変更、段差解消を含めた浴室の改修等が申請されるもの。対象経費は上限80万円で、補助金の上限額は1件あたり40万円である。29年度はいずれも上限を超える住宅改修が行われ、3件で120万円の執行となった。

特定健康診断の受診率

問 受診率の動向は。
答 国保分についての受診率は28年度40・6%から29年度暫定値44%と上がっている。健康

診断の受診率目標については、国保の特定健診のみ目標を定めており、最終的には35年度に60%を目標としている。

にのへ健康マイレージ事業

問 事業の効果は。

答 健康マイレージは昨年、地域限定で斗米地区と堀野を含む仁左平地区で実施したが、参加者が全体で955人、うち前年度特定健診を受診していなかった人が178人いた。割合として18・64%で、前年度健診を受けなかった人たちが健診を受けてマイレージに参加したことになり、健診の意識付け、動機付けという点では効果があったのではないかと捉えている。

小学校教育振興費

問 教育用コンピューター整備事業の更新内容

は。
答 福岡小学校で40台、仁左平小学校で20台、御返地小学校で20台更新している。



2020年度からは小学校でプログラミング教育が必修化される

地域学校協働推進事業費
問 放課後子ども教室の参加者数は。
答 29年度の申込者数は297人で微増、延べ利用者数も年間で1万6277人と増えている。

体育協会元職員による私的流行

問 告発についてどのようになっているのか。
答 現在も告発に向けて関係者と協議をしており、まだ提出はしていない。

産業建設分科会

29年度一般会計決算

遊休農地

問 遊休農地の状況と対応は。

答 農地台帳で把握しているのが5575畝のうち再生可能が1111畝で、山林化や農地転用により減少している。利用状況調査では、作付けしていない面積は832畝であった。今後は農地中間管理機構に全て登録し農地の集約を進めていきたい。

農業振興費

問 29年度の農業生産の例年との比較は。

答 総じて8月以降の異常気象に伴う影響が大きかった。コメの作況指数は不作であったが系統出荷額は上がった。野菜については秋以降の日照不足で生産額は伸びなかった。果

樹は例年の出荷額を得られたが豊作までではなかった。葉タバコは作付け面積が合併当時600畝から380畝に減った状況もあり、1億円あまりの減となっている。

雇用対策費

問 若い人たちの地元就職を促す対策は。

答 高校生向けには地元企業を紹介する取り組みを毎年実施しており、1・2年生の時点と3年生の時点で、計2回実施している。中学生向けには市教育委員会の土曜チャレンジ塾で実施している。その他、各学校単位で取り組んでいる。

漆振興費

問 漆の原木や苗木の数の状況は。

答 市内には16万7千本あり、採取可能とされたものが14万2千本

(推計値)。所有者は約500人で、700弱の漆の林が点在している。他に一戸、九戸、軽米に約100人いるとのこと。苗木については、26万粒蒔いて3万粒以上が発芽した。田子町の造園業者が来年、1万本のポット苗を出荷できるようにである。

下川又地区の市道整備

問 岩谷橋の工事用道路の先の市道が非常に狭い。どう考えているか。

答 岩谷橋の開通に合わせて県道との交差点部分については市道の拡幅を予定している。用地の協力があれば待避所的に道路部分を広げていきたい。



下川又地区の市道

討論

決算認定分



認定第1号 29年度一般会計決算

反対

梶中 泰子 議員

体育協会職員の不正にかかる市の対応は看過できない問題が多数ある。徹底した原因究明と再発防止策が必要だが、まだまだ不十分。市民にとっても行政に対する不信の念が多くあり、承認できない。

賛成

小笠原清晃 議員

苦しい場面を乗り越え、29年度も積極財政運営をしたことを評価する。体育協会の問題と市の決算認定をリンクさせることは難しい。一般会計予算執行には瑕疵がないことから、認定すべきと考える。

反対

鈴木 忠幸 議員

以前から議会のチェックがききにくいと指摘されていた指定管理者制度の限界が今回の事件で露呈した。今後の指定管理委託にあたっては、十分な検討の上で制度を使うことが必要と考え反対する。

賛成

内沢 真申 議員

体育協会職員の私的流用は市に決定的な落ち度があったとは言え

ず、決算全てを認めない理由にはならないと捉えている。新たな手法に取り組みむきつけを作った29年度に一定の評価をし賛成する。

反対

及川 正信 議員

体育協会の件について、2年8カ月間もの間知られずにお金を引き出された事実、委託が条例や協定の下に忠実でなかった点、今も責任の所在が示されず市民の信頼を得るに至っていない点から反対せざるを得ない。

認定第2号 29年度国民健康保険特別会計決算

反対

梶中 泰子 議員

担税能力を超える高すぎる国保税が二戸市の収入未済額、滞納を生む背景にあることは確実。払える国保税にすること、また払えない方々にきめ細やかな相談活動をする誠実な国保運営を求め、反対する。

認定第8号 29年度後期高齢者医療特別会計決算

反対

田口 一男 議員

政府は国保会計から高齢者を引き離し、うば捨て山の制度と批判される本制度を通した。高齢者の年金から取りこぼしなく徴収し生活にあえぐ実態が思い浮かべられる。制度の欠陥の下での本会計に反対する。

決算認定以外の 主な議案

議決

市道路線の変更について

可決

建築基準法第42条第1項第1号の規定に該当する道路とし、沿道の宅地開発に資するため、市道路線を変更しようとするものです。

◆路線名 大川原毛大畑線

補正予算

平成30年度一般会計補正予算(第2号)

◆補正額 8億5475万円

【主な内容(歳出)】

- ・まちなか賑わい創出事業 3422万円
- ・JRバス東北用地(旧浄法寺駅)と商工会浄法寺支所用地の土地購入費
- ・子ども・子育て支援事業計画策定基礎調査業務委託料 364万円
- ・次期計画策定にかかる基礎調査委託料
- ・地域おこし協力隊起業支援補助金 400万円
- ・果樹後継者育成にかかる補助金
- ・広域観光物産センター管理運営事業費 1105万円
- ・なやーと駐車場の土地購入費

・道路維持管理補修事業費

1億3816万円

除雪事業にかかる委託料など

・市民協働除排雪支援事業費

1231万円

貸出用小型除雪機の購入費など

・埋蔵文化財センター管理費 618万円

埋蔵文化財センター企画展にかかる費用

や在府小路遺跡にかかる土地購入費

・災害復旧事業費 1億8079万円

8月15〜17日の大雨災害による農業施設等の復旧にかかるもの

平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

可決

人事異動に伴う人件費の補正や、浄法寺診療所の修繕にかかる経費などです。

◆補正額 事業勘定 8515万円

診療施設勘定 569万円

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について

適任

次の委員について適任とする答申をしました。

【人権擁護委員】

- | | |
|-------|---------|
| 二戸市堀野 | 小林 光子 |
| 二戸市福田 | 高田 一実 氏 |

議員発議

可決された意見書2件は、関係行政機関へ提出しました。

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

可決

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の拡充を政府に求めるものです。

水道民営化を推し進める水道法改正案の成立に反対する意見書

可決

国会及び政府に対し、水道事業にコンセッション方式の導入を促す水道法の一部改正案を廃案し、水道の基盤強化を進めるため、必要な支援の充実、強化を行うことを求めるものです。

障害者雇用の水増し問題の全容解明と障害者の労働、雇用政策の改善を求める意見書

否決

国に対し、今般の国などによる障害者雇用水増し問題について徹底して全容解明し説明責任を果たすこと、障害当事者団体を含む透明度の高い検証体制と障害者の「労働及び雇用」政策全体の抜本的な改革に国の総力を挙げて取り組むことを強く求めるものです。

請願・陳情のしかた

市政に要望がある時は、市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

＜ 請願と陳情のちがいは ＞

- ・請願は紹介議員の署名または記名・押印が必要です。
- ・陳情は紹介議員を必要としません。

＜ 請願・陳情の取扱い ＞

- ・請願と市内の方が提出した陳情は市議会で審査し、採択の場合は関係機関へ送付します。
- ・市外の方からの陳情は、市議会より議員に配付します。

＜ 記載していただく事項 ＞

- ①提出年月日
- ②提出者の住所・氏名(団体の場合は名称、代表者の住所、氏名)・押印
- ③請願・陳情の要旨、理由
- ④請願の場合は、紹介議員1人以上の署名または記名・押印

＜ 記載例 ＞

(表紙)

請願(陳情)書

〇〇〇〇について

紹介議員
氏名 〇〇〇〇 印

※陳情の場合は表紙は必要ありません。

(本紙)

平成 年 月 日

二戸市議会議長 様

請願(陳情)者の住所
氏名 〇〇〇〇 印

〇〇〇〇〇〇について

請願(陳情)の要旨

請願(陳情)の理由

本会議での質疑

市道路線の変更

問 当該道路が完成した平成26年から現在まで市道認定がされなかった理由は。

答 この道路は市民協働道路として整備したもので、当初は市道認定を予定していなかった路線。これまで沿道に建物を建てたいという意向がなかったが、今回建物を建てるにあたり建築基準法上の道路とするために市道認定をするもの。

30年度一般会計補正予算(第2号)

埋蔵文化財センター管理費

問 在府小路遺跡が史跡に追加指定されると国庫補助が受けられるのに、なぜ今市単独予算で10分の1にあたる部分を購入するのか。

答 エリア内では売買等が行われ土地の流動性が生じている。追加指定になると開発行為の制限等もあり取得が難しくなる可能性もある。今般の場合については所有者が売却の意向を示しているため、先行する形となるが補正予算に計上し交渉を進めたいと思っている。

行政連絡費

問 行政連絡員の減少をどう捉えているか。

答 個人では後継者がなかなか見つからないのが現状。町内会等に業務の対価を支払うことで、全体の予算枠組みが大きくなり動きやすい部分もある。今後ますます町内会等に移行していくことになると思う。

子ども子育て支援事業費

問 31年度までの5カ年としている第1期子ども・子育て支援事業計画の見直し状況は。

答 数値目標として掲げる量の見込みとその確保方策等について毎年度見直している。施設整備等については計画より1年以上前倒しで実施している。認定子ども園への幼稚園からの移行は1施設遅れる状況となっていたが、見直しをしながら今年度から認定子ども園として実施されている。

公園管理費

問 金田一温泉近隣公園整備にかかる計画にある川下りの実施などは実現性が低いのでは。

答 スタンドアップパドルボードや川下り、玄米食の講座など、現在いろいろなことにチャレンジをし、何ができるかを検討している。検討を構想の中に入れていき、構想の中から実現に向かってできるものを選択していく。

総務 常任委員会

30年度一般会計補正予算(第2号)

まちなか賑わい創出事業・土地購入費

土地の購入に至った経緯は。

答 浄法寺地域では、合併当初から「まちの駅構想」において、ハード事業では、浄法寺小学校建設、二戸消防署浄法寺分署建設、市道役場線の整備などを行ってきた。ソフト事業では、合併により生じた総合支所の余裕スペースを有効活用し、浄安森林組合の事務所移転、寂聴記念館の開館などを行い、総合支所周辺への公共施設等の集積と賑わい空間づくりに取り組んできた。

この流れを引き継ぎ、平成28年度から32年度までの前期基本計画期間中は、浄法寺地

区まちなか賑わい創出事業を計画し、総合支所を中心としたエリアを小さな拠点とした高齢者が安心して暮らせるまちづくりを目指し取り組みを進めている。28年度からは、商工会浄法寺支所事務所

の総合支所移転、バス停留所の移転、多目的広場休憩室のトイレ・休憩所の改修などを行なっている。そして今回の商工会浄法寺支所及びJRバスの用地購入に至ったもの。

今後地域課題等に対応するため、浄法寺駐在所の建設用地の確保など、同エリア全体の活用について引き続き検討を進める。



用地の購入を予定している商工会浄法寺支所

会議録を公開しています

本会議の会議録は、市役所1階情報公開コーナー、市立図書館、浄法寺カシオペアセンターに備えてあります。平成18年度以降の会議録は二戸市議会ホームページから閲覧・検索することもできます。

一般質問をラジオで放送しています

定例会の一般質問は、カシオペアFM(周波数77.9MHz)で録音放送をしています。放送日程は、二戸市議会またはカシオペアFMのホームページでご確認ください。

文教福祉
常任委員会

30年度一般会計
補正予算(第2号)

子ども子育て支援事業費
委託料について、主
な調査内容は、

各年度における教育
保育の量の見込みや家
庭状況の調査、必要と
される教育保育の提供
体制の内容、実施中の
子育て施策の見直しに
係る内容等になる。小
学校6年生までの児童
を抱えている世帯全体
に対して行うものであ
る。

小学校管理費

除雪機購入と配置状
況は。

市内小中学校全12
校のうち、除雪機があ
るのは4校。今回中央
小学校に1機配備する
が、除雪機がない残り
の7校には、市民協働
除排雪支援事業の除雪

機の中の余剰機から
今年1年は試験的に借
りて配備する。



通学の妨げとなる雪への備えを

埋蔵文化財センター管
理費

土地購入費につい
て、今回追加指定を予
定する面積は。

文化庁と協議を行っ
ている追加予定地は、
在府小路遺跡、字名で
いう在府小路の全てが
遺跡の範囲となるが、
今回はその中でも特に
重要で、九戸城二の丸
大手門の正面、松の丸

のわきに位置する場所
である約2・8畝分の
追加指定を目標してい
る。追加指定後に整備
基本計画等を策定しな
がら進めていくことに
なるが、現段階ではま
だ策定していない。

産業建設
常任委員会

30年度一般会計
補正予算(第2号)

地域おこし協力隊起業
支援補助金

補助金の詳細は。

果恋ジャーとして着
任し今年で3年目を迎
える隊員に、来年度か
ら果樹農家として独り
立ちしてもらおう。1人
に対し機械施設購入に
上限100万円、苗木・
成木購入に上限100
万円を助成するもの。

漆振興費

ふるさと納税を含め
た積立金の合計と使い
方を伺う。

30年9月時点で78
52万円ほど。28年度
に漆振興基金を条例化
し、過疎ソフト事業債
を年3千万円入れてい
るが、昨年は1900
万円寄付をいただいた
。積立型の基金では

なく有効に活用してい
く。

広域観光物産センター
土地購入費

駐車場が不足してい
るのではないかと

29年度の駐車場利
用台数は2千台ほど年
間で減少している。満
車になった日は36日
あったが職員用駐車場
を開放しており、それ
でも停められない状況
になることはほぼない。



イベント時には混雑を見
せる市営駐車場

土木施設災害復旧事業費

河川災害と道路災害
は18カ所全てが国庫補
助対象になるのか。

河川災害は5カ所が
補助対象で、3カ所が
単独工事の予定。道路
災害は10カ所全て補助
対象になる予定である。

討論
決算認定以外



発議第2号 水道民営化を
推し進める水道法改正案の
成立に反対する意見書

反対 米田 誠議員

人口減少が進む中、効
果的なインフラを整備し
行政サービスを確保する
上で改正法案の意義は大
きい。上下水道の公共施
設の運営を民間に委ねる
コンセッション事業は生
産性が高く、経済的な波
及効果もあるとされてい
る。よって反対する。

賛成 畠中 泰子議員

水は暮らしになくては
ならないものであり、も
うけ本意の民間企業に売
り渡そうとするこの改正
案には反対の声も上がっ
ている。国民の命を守る
水道のインフラを守るの
は公営、自治体でなけれ
ばならないと考え、本意
見書に賛成する。

議員と意見交換しませんか？

議会の出前を
始めます！

二戸市議会では、「議員との意見交換会・議会報告会」を開催していただける市内の団体を募集しています。希望するテーマに応じて議員を派遣します。日頃感じている市政への要望や提案などを、この機会にぜひお聞かせください。詳しくは二戸市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。



審議結果

議案番号等	議案名等	審議結果
議案	1 市道路線の変更について	可決 (全員賛成)
	2 平成 29 年度二戸市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決 (全員賛成)
	3 平成 30 年度二戸市一般会計補正予算 (第 2 号)	可決 (全員賛成)
	4 平成 30 年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)	可決 (全員賛成)
	5 平成 30 年度二戸市下水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員賛成)
	6 平成 30 年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員賛成)
	7 平成 30 年度二戸市簡易水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員賛成)
	8 平成 30 年度二戸市介護サービス事業特別会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員賛成)
	9 平成 30 年度二戸市水道事業会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員賛成)
認定	1 平成 29 年度二戸市一般会計歳入歳出決算認定について	認定 (賛成多数)
	2 平成 29 年度二戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (賛成多数)
	3 平成 29 年度二戸市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (全員賛成)
	4 平成 29 年度二戸市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (全員賛成)
	5 平成 29 年度二戸市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (全員賛成)
	6 平成 29 年度二戸市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (賛成多数)
	7 平成 29 年度二戸市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (全員賛成)
	8 平成 29 年度二戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (賛成多数)
	9 平成 29 年度二戸市水道事業会計決算の認定について	認定 (全員賛成)
諮問	1 人権擁護委員候補者の推薦について	適任 (全員賛成)
	2 人権擁護委員候補者の推薦について	適任 (全員賛成)
報告	1 平成 29 年度二戸市健全化判断比率及び経営健全化資金不足比率の報告について	報告
	2 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について	報告
発議	1 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	可決 (賛成多数)
	2 水道民営化を推し進める水道法改正案の成立に反対する意見書	可決 (賛成多数)
	3 障害者雇用の水増し問題の全容解明と障害者の労働、雇用政策の改善を求める意見書	否決 (賛成少数)

賛否の公表 採決で賛否が分かれた案件の結果です

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	駒木 昇	清水 正敏	内沢 真申	米田 誠	三浦 利章	田口 一男	菅原 恒雄	田村 隆博	國分 敏彦	小笠原清晃	新畑 鉄男	梶中 泰子	田中 勝二	田代 博之	岩崎 敬郎	田口 一	及川 正信	鈴木 忠幸
認定第 1 号 29 年度一般会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	×	○	×	議	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×
認定第 2 号 29 年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認定第 6 号 29 年度土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認定第 8 号 29 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
発議第 1 号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	○	×	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第 2 号 水道民営化を推し進める水道法改正案の成立に反対する意見書	○	○	×	×	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第 3 号 障害者雇用の水増し問題の全容解明と障害者の労働、雇用政策の改善を求める意見書	×	×	×	×	○	○	議	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対

市政を問う！

8人の議員が一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたる事業の執行状況や考え方などを執行機関に質問するものです。

本定例会では8人の議員が、下記の項目について質問に立ちました。

鈴木 忠幸 議員	P 11
1. カーリング場整備構想について	
田口 一男 議員	P 12
1. 豪雨防災対策について	
2. 学校図書館の司書と新聞活用について	
新畑 鉄男 議員	P 12
1. 漆工房開設について	
2. 災害の修復について	
3. 雇用について	
4. 喫煙所の整備について	
國分 敏彦 議員	P 13
1. 児童生徒の学力・学習状況調査の結果について	
2. 落久保街路事業の長嶺までの延伸について	
3. 緊急時の情報発信について	
4. 自治体クラウドについて	
清水 正敏 議員	P 14
1. 九戸城について	
駒木 昇 議員	P 14
1. 認知症対策の取り組みについて	
及川 正信 議員	P 15
1. 天台寺、九戸城、御所野遺跡、座敷わらし、なにやどやらを中核とする「シリアル型」日本遺産認定申請の必要性について	
2. 観光政策推進にあたっての目標値の必要性について	
3. 九戸城跡及び周辺地域の整備について	
4. 一般社団法人二戸市体育協会前事務局長の私的流用にかかる事件について二戸市が告発しようとする事について	
畠中 泰子 議員	P 16
1. 岩谷橋仮橋工事に伴う交通渋滞について	
2. 危険なブロック塀対策について	
3. 子どもの医療費助成制度の県内市町村に遅れを取らない拡充について	
4. 学校・保育所・公民館等の公共施設や子ども・高齢者の暑さ対策	



鈴木 忠幸 議員

カーリング場整備構想について伺う 多方面から検討し、方針を示したい

問 8月に開催された議員全員協議会の場にコンサルタント調査報告書が配布された。私はその内容を見て、以前に心配をしたランニングコスト増大への懸念が一層強まった。報告書を受けての市長の感想、また、現段階での整備の可能性についての認識、今後の検討の重要ポイント及びスケジュールについて伺う。

答 市長 今回の報告は、市に必要なカーリング施設を検討、精査してい

くための基礎資料と考えており、今後施設の構想を立てていくにあたって、市の実情に沿った精査・積算をしていく必要がある。

現段階での整備の可能性については、「施設建設財源の確保」「運営主体と運営費の見直し」「カーリング人口の拡大」の3点の課題の解決のメドをつけることが重要と考えている。

を中心とした地域内外の交流機能をさらに高める施設となることが重要である。

一方、建設費、維持管理費とも多額の費用を要する施設であるため、将来に大きな負担になることは避けなければならないと考えている。

多方面から検討の上、市の方針を示していきたい。

問 ランニングコストを考えた場合、コンサルタント報告にある利用者数想定、それを前提にした収支試算はあまりにも甘い見通しに立っており、現実的に想定できない希望的数字が並んでいる。こういった中、これから検討して施設整備の可能性を見出すことが出来るのか疑問を持っている。結局、将来に負担

答 市長 それらについては、議会に報告しながら進めていく。

を残すだけにならない心配している。いずれにしても大きな問題なので、検討からさらに次の段階に進める前に議会にも話をして欲しい。



カーリング場建設の候補地に挙げられている用地（石切所荷渡）



田口一男 議員

豪雨防災対策について伺う 多様な情報伝達で防災意識の向上を図る

問

避難確保計画の市内対象施設に対する策定率と、災害発生時に避難指示に至った施設の対応長期避難を想定した訓練や避難のあり方は。また、浄法寺の八幡館急傾斜地の防

答

市長 今年度の地域防災計画で定めた浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内に立地する要配慮者利用施設は15施設。各対

象施設の避難確保計画の策定は今年度より本格的にスタートしており、各施設と協力し進める。避難生活が長期化した際の健康管理もあり、平時における避難訓練が重要と考える。10月に

金田一地区で予定している市防災訓練では、要支援者名簿を活用した避難訓練や避難生活が長期化した時に活かされる炊き出し訓練も行う。今後の防災訓練では夜間や危険区域を想定しながら進める。

八幡館急傾斜地工事は、3力年で総事業費2億7千万円を投じ対策を講じる計画である。市内で指定して

いる急傾斜地崩壊危険箇所や土石流危険渓流などの危険箇所は429カ所、危険箇所は年1回トロールを実施し危険度の進行などを確認している。4月時点の本市の自主防災組織の結成団体は43団体、組織率は54・8%。全国平均82・7%、県平均85・3%に比べ非常に低い状況。県では今



10月に金田一地区で開催した市防災訓練

学校図書館の新聞活用

年度から自主防災組織育成モデル事業を開始し、本市もモデル地区に選ばれている。今後、地域の協力を得ながら組織の結成に向け進めていく。防災行政無線等の整備も検討している。

問

学校図書館司書と新聞活用について伺う。

答

教育長 本年度より新聞購入代を各学校に予算措置し、小学校に1紙、中学校に2紙を置いてある。記事について考える学習や社会時事への関心を高める指導等に活用され、社会の諸課題を多面的に考え公正に判断する力の醸成に役立っている。学校図書館司書は、小学校は27学級以上、中学校は21学級以上の学校への配置が定められており、市内学校には該当しないが、市単独で学校図書館支援員3人を配置。市内12校を巡回訪問し図書室の運営補助を行っている。



新畑 鉄男 議員

問

文化財修復最大手の小西美術工芸社が二戸市に開設する工房の場所はどこを予定しているのか。また、歴史文化交流施設と

答

市長 実際に開設するのは来年の秋頃になるのではないかと考えている。工房開設の場所は、現在物件を探している段階

文化財修復最大手会社の二戸市進出について

市内への工房開設により漆生産拡大へ

水する箇所対策の考えは。

答

市長 県道及び市道は、それぞれの道路管理者が対応策を関係機関と連携し検討している。道

安比川は県で河川整備を行っている。小規模な河川については道路を横断する管

や水路の断面を大きくする等必要に応じ対策している。

計画しているもので、津波関連補助金の活用を前提としたもの。岩手県北、青森県南地域を代表するプロイラー産業を発展させるために、地元企業や周辺市町村とも協議しながら地域一体となって取り組みたい。

喫煙所の整備計画は

問 小学生、中学生の全国学力学習状況調査の結果はどうであったのか。現状分析、課題について伺いたい。

答 教育長 小学校の結果については、全国平均を100とした指標で国語Aは102、国語Bは99、算数Aは95、算数Bは97、理科は95であった。中学校の結果については、国語Aは100、国語Bも100、数学Aは95、数学Bは94、理科



國分 敏彦 議員

は101であった。今回の結果は、小中学校ともに全国を下回った教科が例年よりも多くなっているが、これまでの推移から判断して本市の児童生徒は着実に力をつけてきていると捉えている。算数・数学の授業において、なぜそうなるのかの理由を含めた理解となるよう工夫したり、分かったことを自分の言葉でまとめる活動を取り入れたりすること、定期的に家庭学習で取り組ませるなどの対応策

全国学力学習状況調査の結果と分析は 今後の方向性を考え各校の取り組みを支援

を各校に伝えながら改善を図りたい。

問 落久保街路事業の長嶺地区までの延伸についてどう考えているか。

答 市長 県道二戸一戸都市計画決定がされており、交通量や危険度のほか、橋梁の改修、まちづくりなどを勘案し、市の考え方を県に伝え、これまで整備していただいている。未整備区

間において安全な歩行空間の確保を図る上で、歩道の整備が課題であると認識している。落久保以北についても一定の時間を要することとは思いますが、整備に向けて努力していきたい。

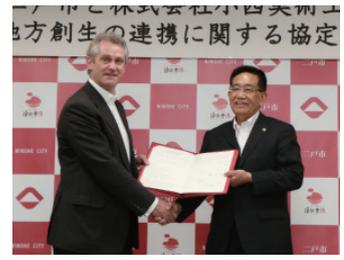
問 緊急時の情報発信は災害時の情報発信の方法はどのようなものが考えられるのか。

答 市長 市としても最も重要課題として捉えており、現在は防災行政無



緊急情報を受信する自動起動防災ラジオ

線のほか、ホームページへの掲載、カシオペアFMの活用、テレビでのLアラートによる文字情報、携帯電話へのエリアメールなど、様々な方法により情報発信を行っている。今後カシオペアFMとの連携により、的確に情報提供ができるよう進めていく。



7月には市と小西美術工藝社が地方創生の連携に関する協定を締結

の併合の考えは。

問 大雨が降るたびに冠水防止策はどのように考えているか。

答 市長 市としても小西美術工藝社と一緒に選定し、できるだけ早い時期に開設するよう協力していく。歴史文化交流施設も含め総合的に考えている。

路への土砂流出については山腹の崩壊を防ぐ砂防事業等を検討するが、応急的に土のうなどで対応する。今回の大雨で通行止めとなつた似鳥トンネル付近は、県で応急的に土のうを設置し土砂が流出しないよう対策する予定とのこと。河川の氾濫については、馬淵川と

問 ブロイラー産業の雇用十文字チキンカンパニーの久慈スープ工場設立にあたり、二戸市との話し合いはなかったのか。

答 市長 十文字チキンカンパニーと丸善食品工業の共同出資による新会社・十文字丸善スープが

問 葉たばこ生産地の二戸市として、今後の喫煙所の整備計画の考えは。

答 市長 現在の市の施設については、喫煙室を設置したり、屋内禁煙にするなど分煙に努めている。街中への喫煙所設置までは考えていない。



清水 正敏 議員

問

九戸城跡への交通アクセスについて、九戸城バス停を作る考えは。

答

市長 九戸城への関心が高まり、今年4月からの来訪者は8月末現在で5481人となり、すでに昨年度の年間4740人を大きく上回っている。新幹線・電車利用の来訪者からは、「駅からのアクセスを向上させてほしい」「道の案内を良くしてほしい」「バスの便がもう少し良いと助かる」など、公共交通機関

九戸城跡の今後の整備計画や展望は 歴史公園の整備と周辺市街地と一体となった保存・活用に努める

問

九戸城跡の今後の整備計画や展望は。

答

市長 市では平成29年度に、発掘調査の進展や市民が集う緑地としての二ノズの高まり、まちづくりの中核・観光資源としての活用促進など、史跡を取り巻く状況が変わってきたことにより、現状課題等の解決のため新たな整備計画となる第2次整備基本計画を策定した。第2次整備基本計画は、「九戸城の歴史的价值をより効果的に

問

九戸城跡の桜の木の保存はどのようにしていくのか。

答

市長 現在九戸城跡には60本以上の桜の木がある。その中には、樹勢が弱まったことにより発



春には美しい桜の花々が九戸城跡を彩る

問

表現・公開し、保存・活用を促進させ、周辺整備と連動して、市民が憩える環境づくり」を基本理念としている。また基本方針として、「歴史公園としての整備促進」「本質的な遺構の保存」「まちづくりの中核としての機能強化」「観光資源としての機能強化」の4項目を柱としている。

答

今後の九戸城跡の整備は、基本理念、基本方針を踏まえ、遺構を保存しながら新たなまちづくりの中核と位置付けて、史跡の特色と意味を表現した歴史公園の整備と、周辺市街地と一体となった保存・活用に努めていく。



駒木 昇 議員

問

患者数の現状は。

答

市長 市内の要介護認定者のうち認知症が認められる方は30年3月

認知症対策の取り組みの推進と組織体制は 住民と公的支援が連動し地域包括ケアシステム構築を進める

答

市長 地域内での活動が主で、金融機関や販売店等では認知症者が詐欺等の事件や事故に巻き込まれることを未然に防ぐ

問

地域住民による支え合いと公的支援が連動し、包括的な支援体制の構築を目的としたもので、生活支援サービス体制の整備、認知症

答

この目標はサポート12人で1人の認知症者をサポートする目標値。市としても引き続き積極的な受講を促すとともに、認知症者や介護者、地域の方が気軽に情報交換や交流できるオレンジカフェの定期開催や市民セミナー、孫世代のための講座等の開催により

末で1280人と、前年度より70人増加している。65歳以上の高齢者の増加とともに認知症状が認められる方も増加している状況。

問 認知症サポーターの人数、組織は。

答 **市長** これまで市内企業等を対象に養成講座を83回開催し、30年3

偏見をなくし正しい知識と理解を深めること、各地域で見守り等を実践いただくことを目的としていることから組織化は行われていない。

問 サポーターの活動内容の把握、組織体制

地域づくりなど戦略を持つて進めていくべきと思うが。

目的で受講しているため、日常業務において防止活動に取り組んでいただいているものと捉えている。

問 組織体制として、市では

本年度地域共生社会の実現に向け二戸型地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる。これは市民が地域で自立した生活が送れるよ

施策の推進、医療・介護の連携強化の3本を大きな柱に掲げている。

問 政府がサポーター養成1200万人を掲

げていることへの対応は。

答 **市長** 国では2025年に高齢者の5人に1人にあたる700万人が認知症になると推計して

認知症への正しい知識と理解を深め、サポーターの増加につながるよう今後も関係機関と協力し進めていく。



昨年度開催した認知症市民セミナー



及川 正信 議員

九戸城跡及び周辺地域の整備の方針を伺う 整備基本設計を作成し植樹・植栽を検討する

体育協会職員の私的流用

問 九戸城は続日本100名城にも選ばれ、来訪者の更なる増に向け整備に取り組むことが肝要である。山桜や花の植樹、植栽をどのように考えているか。

答 **市長** 二の丸において山桜などの樹木を、土塁復元整備をした上に植栽することとしている。現在整備基本設計を作成中であり、文化庁等の指導を仰ぎながら今後の植樹、植栽を検討していきたい。

在府小路遺跡の史跡への

追加指定も計画しており、土地の購入費は今議会に提案している。今後住民説明会等を開催しながら進めていきたい。九戸城整備については周辺町内会等との協議の場を設けて進めていく。

日本遺産認定の申請を

問 県北振興の立場から

も天台寺、九戸城御所野遺跡、座敷わらし、なにとやらを中核とする日本遺産認定の申請を文化庁に急ぐべきではないか。

答 **市長** 日本遺産認定

の制度は平成27年度から始まり、歴史的伝承や風土などを踏まえたストーリーの下に有形・無形の文化財の活用を図る中で、人材育成や環境整備などの取

り組みを進め、地域の活性化を図ることを目的として作られたものである。日本遺産はストーリーの中核となるテーマを設定しなければならず、隣接4市町村にまたがるようなテーマは観光振興だけではおそらく持つていけないと思う。現在漆に関する文化をストーリーの中心として日本遺産の認定申請に向けて準備しており、その方針で進めたい。

問 体育協会内部で起きた件であり、体育協会が告訴しないと判断したものをなぜ二戸市が告発するのか。市民に対し責任の所在を明らかにし陳謝すべきでは。

答 **市長** 体育協会では全額が返還され不利益が解消され、事業に影響もなく訴訟は難しいと判断したとのことであった。告発はその結果を踏まえ、市との関係性を総合的に判断したもの。一番の責任は前事務局長であると思っており。現在、告発に向け資料を整えているところである。



4月からは続日本100名城スタンプラリーがスタート

議会中継のインターネット配信を始めました！

二戸市議会では積極的な情報公開を行うため、インターネットを活用した議会中継の映像配信を始めました。

パソコンやスマートフォン・タブレットで、いつでも本会議の様をご覧いただくことができます。

二戸市議会 議会中継

検索



市議会ホームページにアクセスください。
左のQRコードからもアクセスできます。

議会活動の報告（8月から10月）

- 8月7日～9日 産業建設常任委員会管外行政調査
- 8月17日 二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会総会
- 8月22日 議員全員協議会
- 9月3日 総務常任委員会
文教福祉常任委員会
産業建設常任委員会
広聴広報委員会広聴部会
会派代表者会議
- 9月7日 議会運営委員会
- 9月11日～10月3日 平成30年第3回二戸市定例会
- 9月18日 市政調査会役員会
- 9月25日 市政調査会役員会
- 10月3日 広聴広報委員会広報部会
- 10月15日 カシオペア連邦議会議員協議会議員活動推進交流会
- 10月20日 六市議会議員協議会スポーツ交流大会
- 10月23日～24日 総務常任委員会管外行政調査
- 10月26日 広聴広報委員会広報部会



畠中 泰子 議員

通学路上の危険なブロック塀の撤去費用の支援を 亀裂等があるブロック塀は60力所 注意喚起等する

問 危険なブロック塀の撤去費用の支援を。

答 教育長 市内小中学校には高槻市で倒壊したものと同じ構造のコンクリートブロック塀は設置されていない。金田一中学校の石積み塀に一部亀裂が認められたため撤去する。

通学路、その周辺に目視点検で亀裂等が見られるコンクリートブロック塀が60カ所ある。有資格者等による再点検を行い、学校、保護者と場所、状態等の状況を

共有し通学時の安全指導に努める。

答 市長 全国的には除去に対する支援制度を創設して推進を図っている市もあるが、原則は所有者等の責任で適正に管理されるべきである。

問 学校・保育所等にエアコンを

二戸地区広域行政事務組合によると今夏の熱中症の搬送は34件、入院9人。学校環境衛生基準改正で教室の望ましい温度

基準が17℃以上28℃以下に。市の保育所年長児室にはエアコンがなく、34・5℃の保育室も。市庁舎にはエアコンがあるが子どもたちは酷暑の中で良いと考えるか。

答 市長 3歳未満児の保育室にはエアコンを設置し、遮光ネット、グリーンカーテン等の対策をし、児童クラブでは小まめな水分補給等の対応をしている。必要なものはつけていく。

答 教育長 昨年中学校内の小中学校の保健室に

エアコンがなく、遮光ネット等で暑さ対策をする保育室



エアコンがなく、遮光ネット等で暑さ対策をする保育室

エアコンを設置し、暑さで体調不良になった場合、保健室で休養・回復を図れるものとする。市内全学校にエアコン設置となれば多額の設置費と維持管理費が想定され、国の学校施設環境改善交付金の3分の1補

問 県に小学校卒業までの現物給付を要請しつつ、二戸市も高校生まで拡大、所得制限や一部負担撤廃で県内市町村に遅れをとらない拡充を。

答 市長 一定以上の所得のある方は応分の負担をいただきたい。昨年度に対象を中学生まで拡大しており、効果等の検証をしたい。国・県に引き続き要望していく。

助があるが市の財政負担が課題となる。国の動向を注視する。公民館へのエアコン設置は市の他施設の状況や優先度を勘案し判断する。

問 子どもの医療費助成拡充を

子ども医療費助成拡充を

子ども医療費助成拡充を

視察レポート

2 常任委員会で管外行政調査を実施し、先進地の取り組みを学びました。

【視察日】7月2日(月)～4日(水) 【視察先】福岡県福岡市、兵庫県姫路市
【視察者】三浦利章委員長、駒木昇委員、清水正敏委員、田口一男委員

文教福祉
常任委員会



姫路市役所にて

計画的な教職員のレベルアップが図られていた。当市は姫路市とは環境が異なるが、長期的な視点に立った教職員研修に取り組んで行く必要があると感じた。

学校教育の情報化推進事業
姫路市では、学校教育において情報通信技術、ICTの特長を最大限活用した新たな学校と学びを創造するため、市内全ての小中学校の普通教室に統一したICT環境を整備し、小中一貫教育と連携した取り組みとして進めている。▼所感 姫路市では、教職員の他市町村への異動がない環境で

認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニテュード」実証事業
福岡市では、誰もが心身ともに健康で自分らしく生きていける個人の幸せと、持続可能な社会を両立できる健康社会のモデルを作るプロジェクト「福岡100」を産学官民、オール福岡で推進している。この「福岡100」の一つとして、認知症の人やその家族がいきいきと暮らせる認知症に優しいまち「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」に取り組んでいる。▼所感 認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニテュード」等の事業は当市の認知症に対する事業展開の中で参考になるものと感じた。

産業建設
常任委員会

【視察日】8月7日(火)～9日(木) 【視察先】福井県鯖江市・大野市、富山県高岡市 【視察者】田代博之委員長、畠中泰子副委員長、國分敏彦委員、田中勝二委員、岩崎敬郎委員、及川正信委員



うるしの里会館にて

大野城は、竹田城・備中松山城とともに天空の城ブームに乗ったことで2万5千人の来訪者が7万人に増えた。続日本100名城にも指定されている。まちづくり会社を設立し中心市街地活性化を進め一定の効果が出ている。▼所感 数多くのイベントに官民挙げて努力していることが感じられた。恵まれた歴史資源と自然資源を生かした取り組みは参考にするべきであるが、一人当たりの観光客の消費額と宿泊者数は低い。分析が必要と痛感した。

越前大野城を生かした情報発信と集客拡大の取り組み
最盛期には全国の半数を占めるといわれるほど多くの漆掻き職人がいた。漆は日光東照宮にも使われ、浄法寺を含め全国に技術と道具を伝えた。▼所感 越前衆の伝統工芸を継承しつつも現代技術を取り入れ、中国産漆を使用し手頃な価格で多種多様な製品を提供する産業としていた。当市は漆生産日本一として生産体制の強化や担い手育成などに力を入れているが、その使命は大変大きいと感じた。

うるしの里会館
管理運営は越前漆器協同組合(142企業)が行っている。鯖江市における漆器製品の売り上げは70～80億円ほど。越前漆器の歴史は古

※その他の調査事項…日本遺産に関する取り組みと高岡クラフト市場について



ご意見箱

このコーナーでは、クイズにご応募いただいた皆さまから寄せられたご意見などをご紹介します。

カラー印刷は見やすく目を引くのでつい読んでしまいます。字も大きくていいですね!
(石切所・58歳女性)

葉たばこ農家です。今後の葉たばこ農業の行方が心配です。
(浄法寺・64歳女性)

ごみを減らすため、洋服などは古着回収に出すようにしています。自分にとって不要な物がアジアの国々で役立てられると思うととても嬉しいです。
(足沢・81歳女性)

今までじっくり議会だよりを読むことができませんでしたが、今回隔から隔まで拝読することができ、議員の方々の活躍がよく分かりました。本当にご苦労様です。
(浄法寺・76歳女性)

空いた畑や田んぼの活用について。気持ちのある人を募集して、豆や麦など給食にも使用できる作物を作ってみてはいかがでしょうか。身体が動く高齢の人もいます。
(仁左平・67歳女性)



KOE NO HIROBA

行政と市民、事業者が一体となった ごみ減量と資源化で「循環のまち」に



とだ くによ さん

私は太平洋戦争中の物が無い時代に育ったので、物の使い捨てに抵抗感があり、できるだけごみを発生させない循環社会になってほしいと思います。市民は食品ロスを減らす等の努力をし、行政は生産者や事業者が過剰包装をやめ、リサイクルしやすい製品を作るよう誘導し、一層のごみ減量と資源化対策、市民も参加しやすい仕組みにしてほしいです。盛岡市等のように、指定ごみ袋を買わなくても、中のごみが見える透明・半透明な袋であれば活用できるとごみ減量につながります。石切所地区にも高齢者が運びやすいように衣類回収ボックスを設置してほしいです。

このコーナーでは、市民の皆さまのまちづくりに対する思いを紹介し、掲載を希望する方は、お気軽に二戸市議会事務局へご連絡ください。

よく読めば答えが見つかる！

議会だよりクイズ

下の●に当てはまる数字を入れてください。

「漆の原木は市内に

●●万7千本あり、

(2ヶ所)

うち採取可能とされたものは

14万2千本※推計値」

□ 応募方法 クイズの答えと住所、氏名、年齢、議会へのご意見や議会だよりを読んだ感想などをご記入のうえ、ハガキやファックス、電子メールにてご応募ください。正解者の中から抽選で5人に二戸市共通商品券1,000円分をお贈りします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

※ご意見等は議会だよりの紙面でご紹介させていただくことがありますのでご了承ください。(氏名非公開)

□ あて先 〒028-6192 二戸市福岡字川又47 二戸市議会事務局 議会だより係/FAX:0195-23-1633/メール: gikai@city.ninohe.iwate.jp

□ 締切 平成30年12月14日(金) ※当日消印有効

(前回の答え…パークPEIにより整備予定の金田一近隣公園)

12月定例会を 開催します



議事を傍聴 してみませんか

次回の定例会は、12月6日(木)に開会の予定です。

詳しい日程につきましては、二戸市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

本会議は当日の受付で傍聴できます。傍聴を希望する場合は、議会開催日に市役所3階へお越しください。車椅子をご利用の方も傍聴可能です。

また、市役所および浄法寺総合支所の1階ホールでは、テレビで議会中継を見ることができます。 ※9月定例会の傍聴者は12人(延べ)でした。

編集後記

秋祭り、文化祭等で市民の皆様活躍を目にする機会が増え、感動をいただいております。

9月定例会からは新しく議会ネット中継が始まりました。今までは傍聴や市役所でのテレビ中継で見ることが出来ませんが、ケータイやパソコンで気軽に見ることが出来ます。二戸の将来を担う若い方々に、もっと議事を身近に感じていただければと思います。

今後市民の皆様へ寄り添った議会になるように努めます。

(清水 正敏 記)

委員	部長	副部長	委員
三浦利章	清水正敏	島中泰子	駒木昇
内沢真申	廣聴広報委員会		

二戸市議会のホームページ(市ホームページよりアクセス)
二戸市議会のメールアドレス

<http://www.city.ninohe.lg.jp/gikai@city.ninohe.iwate.jp>

右のQRコードからホームページにアクセス
できます→

